

富山県芸術文化協会創立 50 年・『藝文とやま』第 50 号記念

## 「とやまを描くエッセイ」募集

芸文協創立 50 年、機関誌『藝文とやま』第 50 号（令和 4 年 3 月発行予定）を記念し、全国の方々から「とやまを描くエッセイ（紀行文を含む）」を募集します。

あなたの心に残る富山県の自然や文化を、エッセイや紀行文にお記しになり、下記の募集要項によってお送り下さい。

素晴らしいエッセイ・紀行文にふれ、とやまの新しい魅力や価値を発見し、コロナ禍収束の際には、多くの方が魅力にふれていただくことを期待します。

## 募集要項

- 応募規定 とやまを描く未発表の作品に限ります。どなたでも応募できます。応募者に、『藝文とやま』第 50 号をお送りします。
- 枚数 400 字詰原稿用紙またはワープロ・パソコン原稿(20 字 20 行)換算で 5 枚から 10 枚程度
- 選考 1 次選考委員が幅広い観点から入賞候補作を選定し、選者が選考します。  
※ 1 次選考通過作品は、原則として芸文協 WEB ページで公開いたします。（令和 4 年 3 月掲載予定）
- 選者 本木 克英 氏（映画監督、富山市出身）

1987 年松竹に助監督として入社。1998 年「てなもんや商社」にて監督デビューして以降、松竹の劇場映画・テレビドラマなどを支える屋台骨として活躍。人気シリーズ「釣りバカ日誌」や、「少年たち」「居眠り磐音」「大コメ騒動」など数々の映画を手がける。「超高速！参勤交代」「空飛ぶタイヤ」で日本アカデミー賞優秀監督賞を受賞。2017 年春 松竹を退社しフリーとして活躍中。

遠藤 稔 氏（『藝文とやま』編集委員長、文芸評論家）

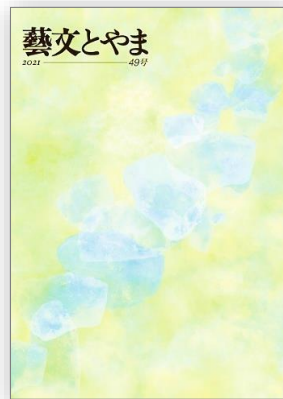
※ 入賞作品は、『藝文とやま』第 50 号（令和 4 年 3 月発行予定）に掲載します。

- 賞金 最優秀賞 1 名 10 万円 優秀賞 若干名 3 万円
- 発表 『藝文とやま』第 50 号（令和 4 年 3 月発行予定）で発表します。
- 応募方法 原稿には必ず作品名（ふりがな）・住所（郵便番号）・氏名（ふりがな）・生年月日・年齢・電話番号・職業・略歴を付記してご応募下さい。  
本県に居住したことがある方は市町村名、または出身地をお記し下さい。  
※ ご記入いただいた個人情報は、今回の企画以外に無断で使うことはありません。
- 応募先 〒930-0096 富山市舟橋北町 7-1 富山県教育文化会館内  
（一社）富山県芸術文化協会事務局〈とやまを描くエッセイ〉係あて  
TEL：076-441-8635（内線 123） WEB ページ <http://www.pat.or.jp/>  
※ 郵送を原則としますが、e-mail でお送りの場合は、1 週間以内に当方から受理のご連絡をお送りしますのでご確認ください。宛先 info@pat.or.jp  
※ 応募作品であることを封筒表紙または e-mail 標題に明記して下さい。  
※ 芸文協 web ページ（<http://www.pat.or.jp/>）の応募フォームからもお送りいただけます。

●締切 令和 3 年 11 月 30 日（火）郵送は当日消印有効、e-mail は当日 13：00 まで

●その他 新聞および協会の印刷物に掲載の場合もあります。応募原稿はお返ししません。

○主催 （一社）富山県芸術文化協会 ○共催 富山県、北日本新聞社



## 『藝文とやま』は

富山県の芸術文化の総合誌として、郷土の文化人や芸術家の研究・業績を発表し、加盟団体の活動状況を紹介しています。

web  
ページ →



選者 本木 克英 氏

## 芸文協は

とやまと世界を結び、世代を超えて文化をつなぐため、美術・音楽・芸能・文芸・生活文化の 35 団体が加盟する総合的文化芸術団体です。

各団体が連携し、ジャンルを超えた展覧会・舞台公演・国際交流・文芸誌発刊・広報普及などを通じ、芸術家と鑑賞者が参加し創作活動の向上をめざします。

web  
ページ →



なお、芸文協発行の文芸誌『とやま文学』第 40 号では、とやまゆかりの方を対象に「第 40 回とやま文学賞」作品を募集しています。小説・評論・児童文学・随筆・詩・短歌・俳句・川柳の部門があります。テーマは問いません。特に、随筆については、今回から 400 字詰め原稿用紙換算で 5～10 枚程度に変更しました。応募要領をご覧になりご応募ください。

